

まず $\text{Ker } \partial_1 = 0$ であることから $H_1(G_*) = 0$ です. ∂_2 の定義域は 0 なので, 調べずとも $\text{Im } \partial_2 = 0$ です.
 ∂_0 の値域は 0 なので, 調べずとも $\text{Ker } \partial_0 = G_0 = \mathbb{Z} \oplus \mathbb{Z}$ です. よって $H_0(G_*) = G_0 / \text{Im } \partial_1$ です. 一方 ∂_1 は

$$\partial_1 \begin{pmatrix} m \\ n \end{pmatrix} = P \begin{pmatrix} m \\ n \end{pmatrix}, \quad \text{ただし } P := \begin{pmatrix} a & 6 \\ 1 & -b \end{pmatrix}$$

で与えられ, 10/20 の講義でやった「 P が定める群」が $(\mathbb{Z} \oplus \mathbb{Z}) / \text{Im } \partial_1 = H_0(G_*)$ に他なりません. P の 2 行目の a 倍を 1 行目から引き, そのあと 1 列目の b 倍を 2 列目に足すと

$$Q := \begin{pmatrix} 0 & 6+ab \\ 1 & 0 \end{pmatrix}$$

に変形されます. Q が定める群は

$$\langle x_1, x_2 \mid x_2, (6+ab)x_1 \rangle \cong \langle x_1 \mid (6+ab)x_1 \rangle \cong \mathbb{Z}/(6+ab)$$

です. あとは各自の a, b を代入すれば答が得られます. 対角行列にこだわって, うまく基本変形をできなかった人もいたようです. どうしても対角行列にしたければ, P の $(2, 1)$ 成分が 1 であることに注目し, 行の入れ替えをすればよいと思います.

H_1 が 10 点, H_0 が 15 点の計 25 点満点で採点しています. 当然ながら, 途中の議論により部分点や減点があります. 気になったのは, P を Q に変形したあと

$$\text{「よって } \text{Im } \partial_1 \cong \mathbb{Z} \oplus (6+ab)\mathbb{Z}, \text{ 従って } H_1(G_*) = (\mathbb{Z} \oplus \mathbb{Z}) / (\mathbb{Z} \oplus (6+ab)\mathbb{Z}) \cong \mathbb{Z}/(6+ab)\text{」}$$

という答案です. 間違いとも言い切れませんが, 好ましくないと思うので減点しています. 上のようにしていい理由は, 同型 $\text{Im } \partial_1 \cong \mathbb{Z} \oplus (6+ab)\mathbb{Z}$ が次の図式の左側を可換にするように取れるからです:

$$\begin{array}{ccccc} \text{Im } \partial_1 & \hookrightarrow & G_0 & \twoheadrightarrow & G_0 / \text{Im } \partial_1 \\ \cong \downarrow & & \cup & & \downarrow \\ \mathbb{Z} \oplus (6+ab)\mathbb{Z} & \hookrightarrow & \mathbb{Z} \oplus \mathbb{Z} & \twoheadrightarrow & (\mathbb{Z} \oplus \mathbb{Z}) / (\mathbb{Z} \oplus (6+ab)\mathbb{Z}) \end{array}$$

左側が可換であれば, 右の縦の写像が導かれ, これも同型であることが示せます. この可換性をないがしろにすると, 誤った結論が出てきます. 例えば $m \mapsto (6+ab)m$ で定まる写像 $\mathbb{Z} \rightarrow (6+ab)\mathbb{Z}$ は群の同型ですから, a, b に関わらず $\text{Im } \partial_1 \cong \mathbb{Z} \oplus \mathbb{Z}$ です (この同型は上の図式を可換にしません). この同型を安易に使えば $H_0(G_*) \cong (\mathbb{Z} \oplus \mathbb{Z}) / (\mathbb{Z} \oplus \mathbb{Z}) = 0$ となってしまうように見えますが, これは正しくありません. 演習問題 2, 4 の補足もご覧ください.

他の誤りとしては, $\text{Ker } \partial_1$ を求めるとき,

$$\partial_1(m, n) = 0 \quad \text{とおくと} \quad am + 6n = m - bn = 0 \quad \text{より} \quad (6+ab)n = 0$$

とするわけですが, ここから $n = 0$ を結論づけなかった答案がいくつかありました. $n \in \mathbb{Z}$ ですから, 自然数倍して 0 になる n は 0 です. もちろん, 一般の Abel 群 (加群) G の元 g が $kg = 0$ ($k \in \mathbb{Z}$) をみたしても, 安易に $g = 0$ と結論付けてはいけません. 例えば $G = \mathbb{Z}/k$ なら, $g \in G$ が 0 でなくとも $kg = 0$ です.